

# 真理の影を慕いつつ

8月25日(水)に2学期始業式が行われました。猛暑と豪雨の日々でしたが、3人それぞれの夏を過ごし、そろって元気に2学期のスタートを迎えることができました。



さて、始業式や終業式では校歌を歌います。今回は2番と3番を歌いました。真鍋中学校の校歌は1番から4番まであります。これまでは1番と2番だけを歌い、生徒たちは3番と4番になじみがありませんでした。しかし、1番から4番はそれぞれ四季の情景を表しており、生徒たちが学び育つ1年間の姿を表現しています。そこで、今後は季節に合わせて歌っていき、伝統ある校歌をより大切にしていきたいと考えています。3番は秋の夜の澄んだ月明かりと、真摯に学びに向かう者の姿を重ねた美しい歌詞です。3人の生徒たちが穂(みのり)多い2学期を過ごしてくれることを願っています。

真鍋中学校校歌

作詞 久一 和彦  
作曲 森 豊之

一 霞に明ける瀬戸の海  
みどり色濃き真鍋島  
磯の香りに春が来て  
若き希望の花は咲く  
水島灘を北にうけ  
瀬みぞ風に夏と知り  
波の飛沫に鍛えたる  
真鍋健児の意気高し  
秋三更の夜はふけて  
月白金の波を寄せ  
真理の影を慕いつつ  
若き生徒に穂りあり  
山陽に積む峯の雪  
遙かに望む真鍋校  
理想の道は遠くとも  
わが学び舎に通うなり

真鍋中だより

眺海

令和3年  
9月

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため緊急事態宣言が再び発令されています。前回の非常事態宣言の頃と大きく異なっているのは、ウイルスがより感染力の高い変異株となっている点です。変異株は重症化のリスクも高く、重症化した場合は治療後も深刻な後遺症(味覚障害、倦怠感等)が長期間続く例も報告されています。現在、岡山県内の感染例もほとんどが変異株によるものということです。また、若年層の感染率が高くなっており、笠岡市内の10代の子どもたちの感染例も増えつつあります。本校においても感染防止に一層努める責務を強く感じています。このことに関しましては8月25日付けの書面にてすでに連絡しており、生徒たちの意識の高まりも感じますが、さらなる防止対策のために、次の点について重ねてご協力のほどお願いいたします。

## ○マスクの着用について

- ・息苦しさ等に配慮しながら、できるだけ機能の高いものを選んでください。(校内では不織布製のマスクが利用できるよう、学校でも準備いたします。)
- ・口と鼻をしっかり覆うことができるよう、ゴム紐の長さを調整してください。
- ・校外においても、可能な限りマスクを着用して過ごすことを習慣にしてください。

## ○本人のみならず同居家族に発熱や風邪症状がある、又は、感染の可能性が高いと考えられる場合

- ・登校せず自宅で経過観察して下さい。(家族内での感染の確率が非常に高まっています。)

「コロナ禍に慣れて油断の頃なのか(コロナの禍)」

## 9月の主な行事予定

- 1日(水) 合同委員会 6日(月) 全校朝礼 給食費集金 10日(金) 健康診断  
16日(木) 校外学習(予定) 21日(火) 全校朝礼 24日(金) 諸費集金  
27日(月) かさおか町づくり協議会講座(SNSの使い方など情報モラルに関する講座です。)